



風っ子・環境キャンペーン

藤岡市

手づくりのビオトープ 水族館並みの見せる工夫も

群馬県立藤岡北高等学校



環境工学コースの有志と手づくりのビオトープ。雨水をためて池の水に利用できるように計画中

藤岡北高校（篠塚）では、環境工学コースの3年生が中心となってビオトープづくりを進めています。同校では、室内でプラントクワン、小さなエビやカニ、ドジョウなどを飼育。食物連鎖

がわかるような図と共に展示しています。折角なら、自然に近い環境で生き物たちが命を育む様子を見られるようにと、昨年6月から始めたのがこのビオトープづくりです。一輪車で石を運んだり、シャベルで土を掘ったりと大変な作業が続きました。授業時間以外にも、放課後、遅くまで照明をつけながら頑張りが、完成に近づいてきました。特徴は小川・小さな池・大きな池と水を循環させているところ。また、水が浄化するように小川にクレンソウを植えたり、小さな池には水草を入れたりしています。注目は、大きな池。側面にアクリル板をはめ込んで、池の中が見えるようになっていっています。まるで水族館のよう。そっと覗くと大きなコイがゆったりと泳ぐ様子が目近で見られます。これには生徒だけでなく、農業体験に訪れた子どもたちも大喜び。生き物や環境への興味が湧いてきます。10月には県の水産試験場からやって来た8匹のヤリタナゴが、池に放たれる日を待っています。



協力し合いながら、作業を進める生徒たち

阿久沢翼さん（2年）は「水路作りで水の調整に苦労しました」と、岡部誉大さんは「これからはヤリタナゴの繁殖も手がきたい」と意欲を見せます。担当の新井健司先生は「地域で環境に関わる人材に育ててほしい」と、優しい眼差しで作業をする生徒たちを見つめていました。

群馬県立藤岡北高等学校

綿貫忠男校長 351人
藤岡市篠塚90番地
<http://www.nc.fujikita-hs.gsn.ed.jp/>

農業科のみ設置の単独校であり、地域に根差し、人と環境を大切にすることを実践しています。生物生産科、環境土木科、ヒューマン・サービス科の3学科で構成。卒業生は農業を中心に各業界で活躍しています。



楽しそうな
ビオトープができるね

群馬県のマスコット「くんまちゃん」
許諾第2019-110878号

身近にできるエコ活動

エコな商品を選んでみよう

みなさんは、普段お買い物をするときに「エコな商品」を選んでいませんか？「エコな商品」というのはどうやって見つければいいのか。エコな商品の目安の一つになるのが、「エコマーク」です。エコマークは、環境のことを考えた商品につけられるマークです。エコマークの基準は、材料を作るところから商品を使い終えるまでという商品のサイクルを考えて作られています。今度お買い物をするときには、エコマークを意識して探してみましょう。

群馬県環境サポートセンター

風っ子・環境キャンペーン協賛社

(順不同)

トヨタ モビリティパーツ株式会社 群馬支社

Honda Cars 群馬

KADOYA 角屋工業株式会社

日産サテオ群馬

富士スバル

Uユーザーホーム (株)浦野建設

ニューサンピア

JA全農ぐんま

群馬トヨペット

カネコ種苗株式会社

上武印刷株式会社

トヨタレンタリース群馬

総合住宅展示場 上毛新聞マイホームプラザ